

鳥取市



SDGs未来都市
鳥取県鳥取市

サステナビリティ×イノベーションで「農村から真の持続可能なまち」を実現する



- 2021年、鳥取市は「SDGs未来都市」に選定されました。
- 環境保全と経済活性化が両立した、「食」と「エネルギー」の地産地消を達成する、人と人が繋がった農村モデルの構築を進めています。

▼関連するゴール

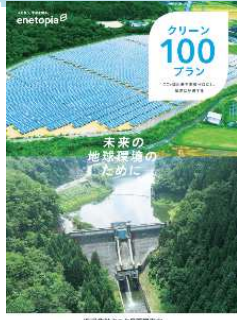


▼多様なステークホルダー



環境

『エネルギーの地産地消』と『「微生物発電」実証事業』の推進



- 官民連携型の「**エネルギーの地産地消**」を推進
- 地域内で持続可能な再生可能エネルギーの開発と供給を進めている
- **再エネによる地域への電力供給率100%**を目指す

- 地元企業の技術による『**太陽光パネルのリサイクル材**』を活用した「**微生物発電**」の実用化に向けた取組を推進
- 理論上、**田んぼ1反に対し10世帯分の電力**を確保できる可能性が見えたため、**行政も本事業を積極的に支援**



経済

再生資源の農業への活用



- 再生可能エネルギーを活用した、**エコなスマート農業経営モデルの構築**を進める。
- ICTやデータ分析を活用することで、次世代を担う若者の就農意欲を高める。

社会

ワーケーションの推進



- 本市の取組を全国的に知っていただくための**ワーケーションプログラムを企画・実施**する。
- 都市部と地方の双方の企業が連携して、本市の取組の全国的な普及を進めていく。